

ソウェルクラブ おきなわ Sowel CLUB

大自然を満喫!

「やんばるカヌー体験・自然観察エコツアー」 日帰りバス旅行

ソウェルクラブおきなわでは会員の皆様の交流を深め、リフレッシュしていただくため、会員交流事業「やんばるカヌー体験・自然観察エコツアー」日帰りバス旅行を8月7日(土)、21日(土)の2回にわたり東村(慶佐次)にて実施しました。

午前中は慶佐次(げさし)湾のヒルギ林をカヌー体験。遊歩道の上からマングローブ林の生態や干潟に生きる小動物などを観察し自然の壮大さを実感しました。

午後からは近くのウッパマビーチでバーベキュー。自然の残った海岸でサンゴのかけらや貝殻などでクラフトを作ったり岩場に残った生き物たちの観察などをしながら楽しい時を過ごしました。参加会員からは「カヌーに初めて乗ったよー。楽しいね。」「子どもにとっていい体験になりました。」などの声があがり有意義な時間を過ごされていました。



離島在住会員のみなさまへ

「入学祝金贈呈事業」を実施

離島在住会員にとってソウェルクラブのサービスは地理的なハンディがあり、利用しにくいという声がありました。その点を補うため今年度から「入学祝金贈呈事業」を実施したところ、小学校・中学校・高校に進学した17法人の会員のお子様方42名に入学祝金が贈呈されました。

沖縄県福祉人材研修センター

ソウェルクラブおきなわ事務局

沖縄県総合福祉センター東棟3階

TEL.(098)882-5703

FAX.(098)886-8474

E-mail:jinzai@okishakyo.or.jp

インターネットによる職業紹介システム「e-HOT」

http://www.fukushi-work.jp/

福祉の職場 説明・面接会

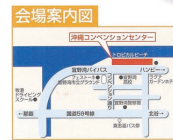
福祉の就職総合フェア2004



そんなあなたを応援します。

福祉の仕事につきたい...

参加費 無料



期日/平成16年9月15日(水)
午後12時30分受付開始 15時30分受付終了 16時閉会

場所/沖縄コンベンションセンター大会議室
宜野湾市真志原4-3-1

お問い合わせ先 沖縄県福祉人材研修センター
〒903-8603 那覇市首里石川町4-373-1 (沖縄県総合福祉センター内)
TEL.098-882-5703 FAX.098-886-8474
E-mail:jinzai@okishakyo.or.jp URL:http://www.okishakyo.or.jp

※当日は人材研修センター、各福祉人材バンク内の無料職業紹介窓口をお使いください。



宜野湾市の民児協正副会長十六名が地域介護支援リーダー(指導者)としての資質向上を図るため研修を受講した。
七月三日(土)に開催された本研修会は、長時間の研修にもかかわらず、地域介護を支えていこうと、受講者は終始和やかな雰囲気の中にも真剣に講義に聞き入っていた。
沖縄県介護実習・普及センターでは「高齢者の介護は県民全体で支え合おう」を合言葉に、各種介護講座を主催している。本研修会も介護の知識や技術を普及していくための講座の環として実施されたもの。
宜野湾市民児協は昨年、介護実習教室を受講。今回は更にレベルアップしたリーダー養成講座を受講し、介護を必要としている市民に対し支援活動を目指す。
受講した玉城宏会長は「これを契機に、支え合う介護普及に努めたい。」と話した。

民生委員が地域介護支援 リーダー養成研修を受講

砂利道・芝生等の介助方法

*基本的に前輪(キャスター)を上げて、後輪のみで前進する



図1 車いすと介助者が近づけるように前進しながら、手前に重さがかかるように走行する。
図2 止まっている状態にした時、前方か後方に片寄りがないようにバランスを保持し、(2-1)のようなことを行なってみる。
図3 図1、図3のような対応をすると、手首・肩腰に大きな負担が出てくると考えられるため、痛みを感じている所があればご注意ください。
図4 背中まはまるめこむようなイメージの姿勢。肘は伸ばす。
(4-1) グリップ部分より少し前の部分をつかまえた方が楽に介助ができると考えられる。

図1 車いすと介助者が近づけるように前進しながら、手前に重さがかかるように走行する。
図2 止まっている状態にした時、前方か後方に片寄りがないようにバランスを保持し、(2-1)のようなことを行なってみる。
図3 図1、図3のような対応をすると、手首・肩腰に大きな負担が出てくると考えられるため、痛みを感じている所があればご注意ください。
図4 背中まはまるめこむようなイメージの姿勢。肘は伸ばす。
(4-1) グリップ部分より少し前の部分をつかまえた方が楽に介助ができると考えられる。

図1 車いすと介助者がはなれていると、バランスがとりにくく、介助者側に全身の疲労感が増大しやすい。(腰痛の方は特に気をつけて下さい)



はあといふるケア

介護実習普及センター



【お問合せ】沖縄県介護実習・普及センター 電話 (098) 882-1484